

第2回 自立支援センター千代田寮 地域連絡協議会 要点録

1 開催日時及び場所

(1)日時 令和元年11月18日(月) 午後2時～午後2時55分

(2)場所 神田公園区民館 4階洋室A(神田司町2-2)

2 出席

出席者 13名 欠席者 6名

3 配布資料

別紙のとおり

4 概要

● 開 会

(1) 挨拶

千代田区 歌川 保健福祉部長から挨拶

(2) 委員紹介

今回初めて出席した秋山委員・渡邊委員・鈴木委員の紹介

● 議 事

(1) 自立支援センター千代田寮の建設工事について

東京都福祉保健局生活福祉部 柳沼 事業調整担当課長から、入札による建設工事施工業者の決定について報告。6月21日に大和リース株式会社が建設工事施工業者となった。続いて、柳沼事業調整担当課長から斎藤会長に対し、同社担当を建設工事概要及び工程等の説明のための会場入室許可を求めた。協議会会則に則り斎藤会長が入室を認めた。

大和リース株式会社からは、令和2年3月から着工し、同年7月末に竣工予定との説明があった。

※原則作業は月曜日から土曜日 午前8時から午後6時までとなっている。ただし、作業内容によっては時間外、日曜・祝日の作業もある。(想定:コンクリート打設時の押さえ作業や内装工事等の騒音・振動が発生しない作業)

※作業については、週間工程看板を遊歩道から見える位置に掲示し周知する。

※原則ゴールデンウィークの作業は休工。(工程表上平日の4月27日・28日は作業あり)

※基礎工事がある3月中旬過ぎまで騒音振動を伴う作業があり、その後も鉄骨組等の作業のための騒音や外構工事のため騒音振動を伴う工程を予定している。

【質問】

近隣住民に対する説明会、個別説明や資料のポスティング等の動きがあるのか。

【回答】

(千代田区 柳 生活支援課長)

建設工事に関する住民説明会を12月11日(水曜日)午後6時から神田公園区民館4階洋室Aで実施する。その他、近隣への直接説明及びポスティングを予定している。

(2) 自立支援センター千代田寮の施設整備に関するご意見、ご要望について

千代田区 柳 生活支援課長から集計結果の説明があった。

令和元年5月22日開催の第1回協議会のあと、6月末までの締切の間に以下のとおり意見・要望が出ている。今回は施設設備に関する意見について、各担当から説明があった。なお施設運営・その他の意見については、運営事業者選定に際して考慮するとともに、選定後の運営事業者に対する意見・要望として検討する。

意見・要望	説明者	内容
(1)出入口が奥まった、外から見えにくいところにある関係で、外部から出入口がよく確認できる状態にしてほしい。逆に、入口以外は、背丈の低い植木を植えて、緑を多くしてほしい。	大和リース株式会社	外構フェンスに入口の位置を示す掲示をする等、運営事業者と協議し対応していく。
(2)跡地のこともよく考えて、将来を見据えての施設建設を希望する。	東京都福祉保健局生活福祉部 柳沼 事業調整担当課長	令和7年8月閉所以降解体し、原状復旧した後、都から千代田区へ返還する予定。
(3)明るい雰囲気施設の設けである方が入居者及び近隣の双方にとって良い効果がある。例えばアーツ千代田3331にプロデュースを依頼する等して、建物壁面を季節ごとに、イラスト等で飾るという取り組みができるとう良い。	東京都福祉保健局生活福祉部 柳沼 事業調整担当課長	周辺の景観には配慮するが、限られた予算の関係上、ご意見いただいた内容までの取組は厳しい。

【その他要望】

建設予定地内の樹木についてサノキクザクラがあるが、どのように検討しているのか。

【回答】

(東京都 柳沼 事業調整担当課長)

建物を建てるため、場所を見つけて移植を行うこととなるが、本事業終了後は原状復旧するので元の位置に戻すことで検討している。

(千代田区 歌川 保健福祉部長)

昨年来、千代田区では街路樹の問題をきっかけに既存樹木の保護について関心が高まっている。公園の改修でも樹木の保存に努めているところで、保護するために樹木医による診断も積極的に行っている。神田橋公園のサノキクザクラに対して思い入れが深い方も少なくないので、工事に伴い一時的な移植の結果「枯れてしまった」では済まない。費用をかけても慎重に移植と保存をして原状回復する必要がある。区として都と協議し、出来る範囲で協力していく。

《金城委員ここから出席・紹介があった》

(3) 今後の予定について

① 運営事業者募集について

特別区人事・厚生事務組合 藤嶋自立支援課長から説明があった。

11月下旬から公募内容の公表後、12月17日に応募予定の事業者向けの説明会を行い、来年1月9日まで応募書類の提出を受け、1月末の選定委員会を経て運営事業者を決定する予定。

② 住民説明会について

千代田区 柳 生活支援課長から説明があった。

日時:12月11日(水曜日)午後6時～ 会場:神田公園区民館4階 洋室A

広報千代田11月20日号、区ホームページ及び「大好き神田」ホームページへの掲載等による開催周知を行う。建設工事に関する住民の方々への説明会となるので、各委員の皆様には周りの方々へのお声かけをお願いしたい。

③ 次回開催について

運営事業者決定後、令和2年2月頃第3回の地域連絡協議会を開催予定。

【質問】

運営事業者が決定した後、協議会で決定報告するということか？事前に意見等を選定基準に盛り込むようなことが無いのか？

【回答】

(特別区人事・厚生事務組合 鈴木 厚生部長・藤嶋 自立支援課長)

運営事業者が決定した後の報告となるが、現時点ではまだ公募前であり、地域ごとに貢献してもらいたい内容も違うので、本日段階で要求水準に盛り込んでもらいたい具体的な要望等があれば、ぜひご意見をいただき、盛り込める内容は盛り込んでいきたい。

事業者選定にあたってはプロポーザル委員として23区の福祉部長や学識経験者を集め、事業者プロポーザルにより考え方を伺い、丁寧に責任をもって事業者を決定する。

なお、評価基準については、例えば地域との連携に関する項目があり、地域の祭りへの参加や施設周りを明るくするといった取組の実績や方針を各法人に提案していただき、選定委員会で評価する。

(4) その他

質問	説明者	内容
ガードマン設置について考えがあるか	特別区人事・厚生事務組合 鈴木 厚生部長	ガードマンが必要な類の施設ではないため、これまでの施設で置いた例は無い。ただし、建設工事中は交通誘導員を設置する。
現在でも建設予定地に路上生活者がいる。住民レベルでは声をかけにくい現状を考えて対応願いたい。	特別区人事・厚生事務組合 鈴木 厚生部長	現在でも巡回相談として、路上生活者のもとを訪問し、声掛けを行う等取組を行っている。時間がかかることである

		が、センター職員が当人と良い関係を築いて生活保護施設や自立支援センターへの入所の提案や、医師や看護師が同行しているので医療相談から医療機関へ繋げるなどの働きかけをしているところである。当該路上生活者への働きかけは区の福祉事務所と連携して行っていく。
自立につながる可能性のある路上生活者は何とかなるかもしれないが、そうでない者について地域住民も心配している。古着の提供などの働きかけも考えていてもらいたい。	特別区人事・厚生事務組合 鈴木 厚生部長	自立生活センターでは、就労による自立支援のほか、高齢の路上生活者等を対象に、直接アパートへ入居したうえで自立生活が送れるよう支援を行う事業があり、通常の巡回相談と合同で対象者への声掛けを行っている。今後も社会資源を生かしながら働きかけに努めていく。

以上により、第2回自立支援センター千代田寮地域連絡協議会を終えた。